

科目名	音楽文化研究演習Ⅱ	授業期間	通 年
担当教員	福田裕美、周東美材、赤羽美希	科目 No.	MME4488
受講対象	音楽教育 4 年	単位数	4 単位

目 標 ／ 概 要	<p>前年度の音楽教育研究演習・音楽文化研究演習の成果をふまえ、卒業課題の指導を、グループまたは個別で行う。</p> <p>(1) 資料収集や文献検索などの学習を通して、研究の基本的な方法を習得する。</p> <p>(2) 各自の研究テーマに基づき、文献を読み、調査を進める。</p> <p>(3) 報告及び執筆の中で文章力及びプレゼンテーション技術を磨き、討議の中で課題意識を深めながら、相互対話および共同作業の基本的姿勢を習得する。</p> <p>福田クラスのテーマ例：音楽文化政策、まちづくり、伝統文化、民俗芸能、アートマネジメント 周東クラスのテーマ例：メディア、ポピュラー音楽、音楽産業、歴史（社会史） 赤羽クラスのテーマ例：音楽ワークショップ、創造的音楽活動、エイブルアート、音楽療法</p>
-----------------	--

授 業 計 画	春 学 期	
	1	テーマの予備調査
	2	テーマ検討の準備
	3	テーマの検討
	4	テーマの決定
	5	資料蒐集の準備
	6	資料蒐集の実施
	7	資料蒐集の継続
	8	資料蒐集の延長
	9	資料の整理
	10	不足資料の蒐集
	11	資料の再整理
	12	テーマの再検討
	13	テーマの修正
	14	テーマの確定
	15	資料読み込みの準備
	秋 学 期	
	1	資料の読み込み
	2	資料読み込みの継続
	3	資料読み込みの延長
	4	資料内容の整理
	5	不足資料の蒐集
	6	論文構想の決定
	7	論文の執筆
	8	論文執筆の継続
	9	論文の再精査
	10	論文の修正
	11	修正論文の再精査
	12	論文の推敲
	13	論文推敲の継続
14	論文の再整理	
15	論文の完成	

準備学習の内容	毎回、次の授業に向けての課題、準備学習が指導教員より提示される。					
履修上の注意	各履修者の進捗状況に合わせて、個別指導を行うので、グループ授業日以外の出席は担当教員の指示に従うこと。授業期間中に数回設定するメ切を厳守すること。課題提出後に行われる研究発表会（2月初め）には、必ず出席すること。					
評価方法	試 験	課題(レポート含)	発 表	平常点	その他	合 計
				100%		100%
	補 足	卒業課題（論文、報告、制作）のプロセスを重視する。				
教材等	『東京音楽大学音楽教育専攻 卒業課題作成の手引き』 他は必要に応じて授業中に提示する。					